

## 「いしかわ里山塾」(穴水班)への参画：地域資源の再発見、ふるさと教育

団体名 ● いしかわ里山塾(穴水班)：池田ゼミナール／代表者名 ● 池田幸應(人間科学部スポーツ学科・教授)

### はじめに

池田ゼミナールは、これまで継続的に穴水町での野外教育推進・地域貢献活動を行っており、本年度においても地域資源調査を行い、穴水町立向洋小学校のふるさと教育と連動させ、地域資源の再発見、ふるさと教育の推進を目的とした。

### 活動内容

池田ゼミナール学生(3年次9名、4年次8名)は、4～5月に「穴水町」についての本事業の昨年度実施活動の確認や関連資料、webリサーチ等の事前調査を行った。その後、5/9(日)に現地視察を実施し、現地での観光関連資料の収集、穴水町教育委員会事務局、漁業従事者等からヒアリング等を行い地域資源の理解を深めた。主な視察場所は、穴水町役場、穴水小学校周辺、穴水駅周辺、能登長寿大仏、フィットネスジム「チアフル」陸上競技場、向洋小学校周辺、住吉公民館、あすなる広場、沖波地区、能登ワイン、地域交流センターかぶと、他であった。

その直後から新型コロナウイルス感染が拡大し、学外活動も制約され始めたことに加え、ゼミナール内の他の活動予定とも重なったため、10～11月にかけて本事業での具体的実施案について検討、準備を進めた。11/7(日)に再度、穴水町を訪れ、地域文化である祭りについての意見交換、太鼓・縦笛体験など、地域住民へのヒアリング調査を行い、旧穴水町立兜小学校に設置されている「かあさんの学校食堂」において、地域住民より食文化についても理解を深めた。11/17(水)、18(木)には、穴水駅、穴水町営フィットネスジム「チアフル」、のとふれあい文化センター、さわやか交流館プルート、穴水町B&G海洋センター、地元寿司屋「福寿司」、穴水町役場、潮騒の道等を視察し、穴水町の地域資源の再発見、スポーツツーリズム推進に向けたリサーチ活動、学生目線での地域活性化策についての検討を行った。

残念ながら、1～2月に穴水町立向洋小学校へのふるさと教育出前講座の実施を予定、準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染の再拡大により、



写真 向洋小学校前の「ボラ待ちやぐら」の視察

延期となり、ゼミナール学生と小学生との出前講座や地域での報告会の実施が不可となった。そのため、3月に穴水町における来年度のふるさと教育の推進および里山里海の魅力発信についての意見報告会(遠隔 Zoom)を予定している。

### 成果、結果の考察

本年度は、新型コロナウイルス感染の社会状況、そして大学の対応指針によるゼミナール活動の規制も含め、予定していた小学生との活動がそれらと丁度重なり、先方との遠隔形態を含めた調整にも限界があったため、本事業の中心的活動であるゼミナール学生と小学生との出前講座が実施できなかった。しかし、学生たちの地域特性や地域資源への理解や来年度に向けた継続的な子どもたちのふるさと教育推進には寄与できたものと考えられる。

### 今後の課題、展望

活動経験を活かし、地域行事や行政施策等と連動化し、協働での里山里海体験活動を推進しながら穴水町の地域の魅力について配信して行きたい。